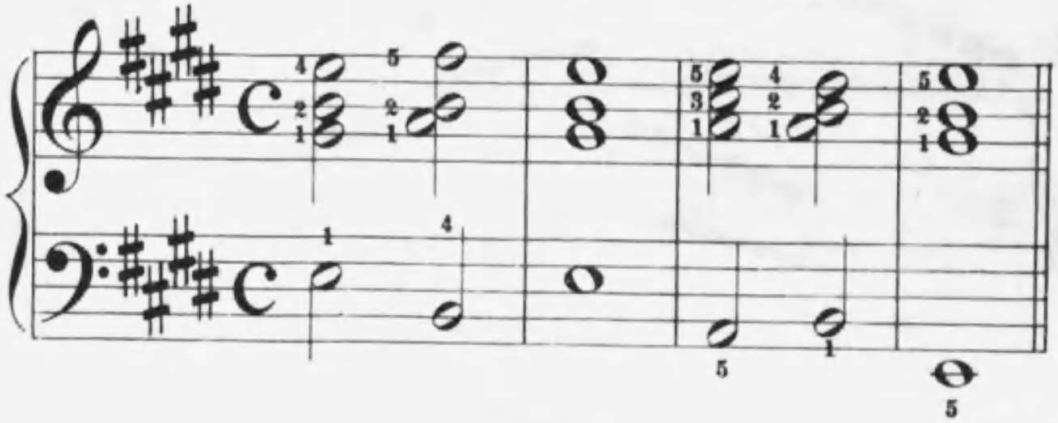
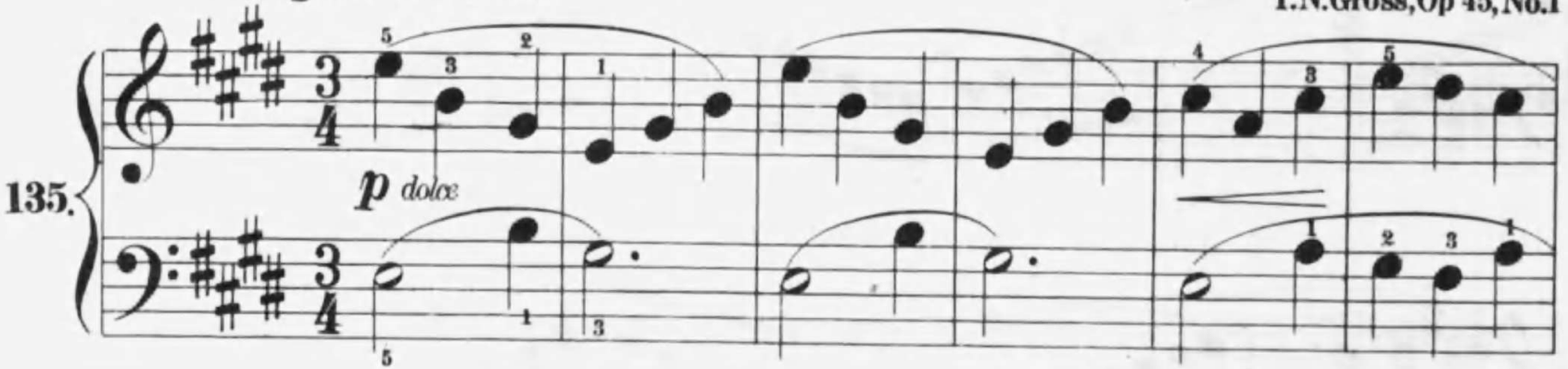
E（ホ）長調の和音練習

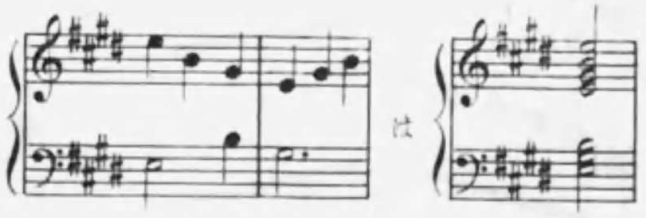


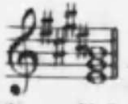
梢のお陽さま

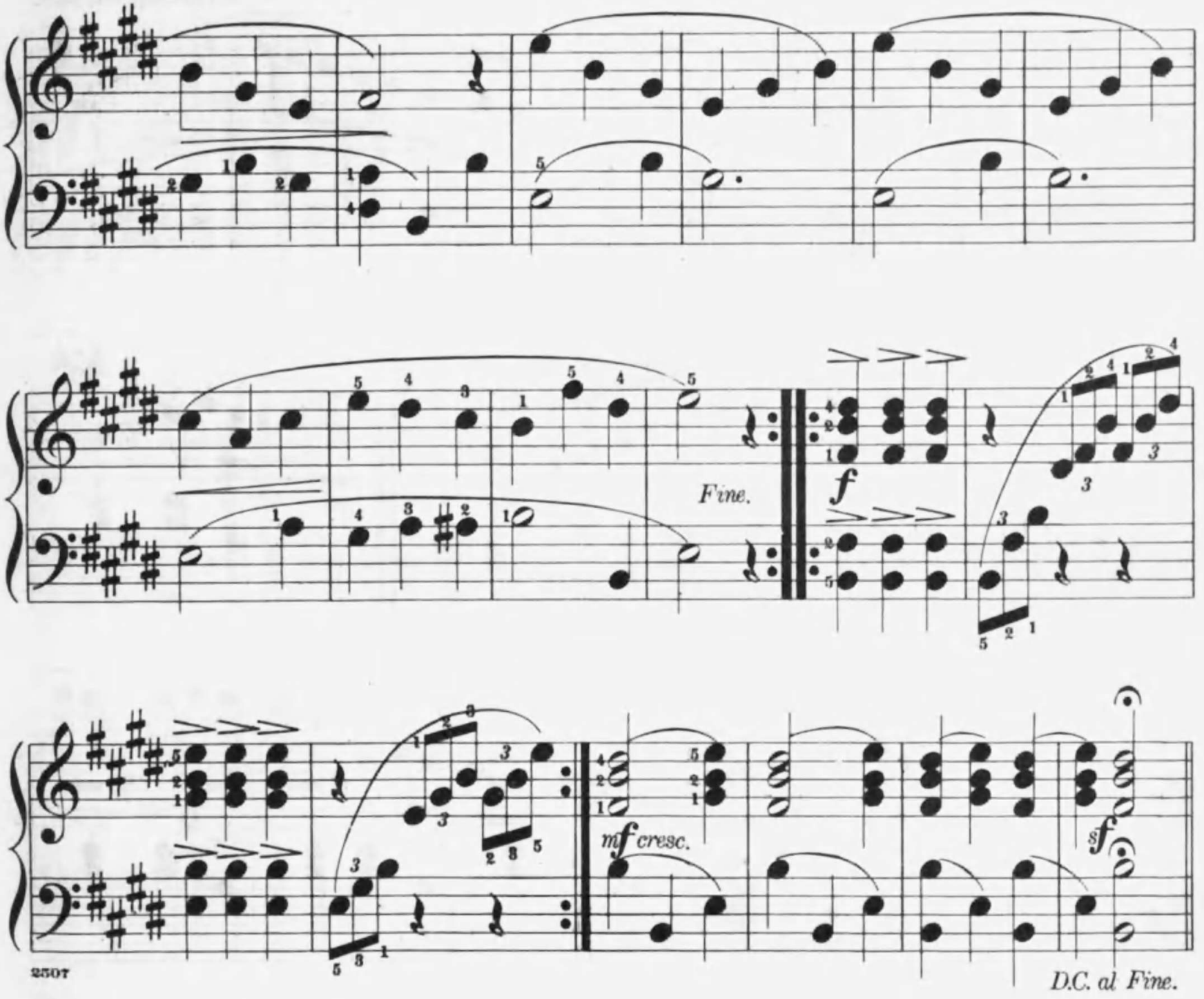
Allegro moderato

T.N.Gross, Op 45, No.1





の和音を切り離したものでもとは三つの音  であります。このやうなものを分散和絃と云ひます。中程の三連符の小節も分散和絃です。


Fine.
f
mf cresc.
sf
D.C. al Fine.

ワルツのお話し

ワルツはドイツから興きった踊りの曲で普通三部歌謡形式で、たいてい速い $\frac{3}{4}$ か $\frac{3}{8}$ 拍子です。左手の ♩𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯 の形が特徴です。

ワルツを作曲した有名な作曲家には

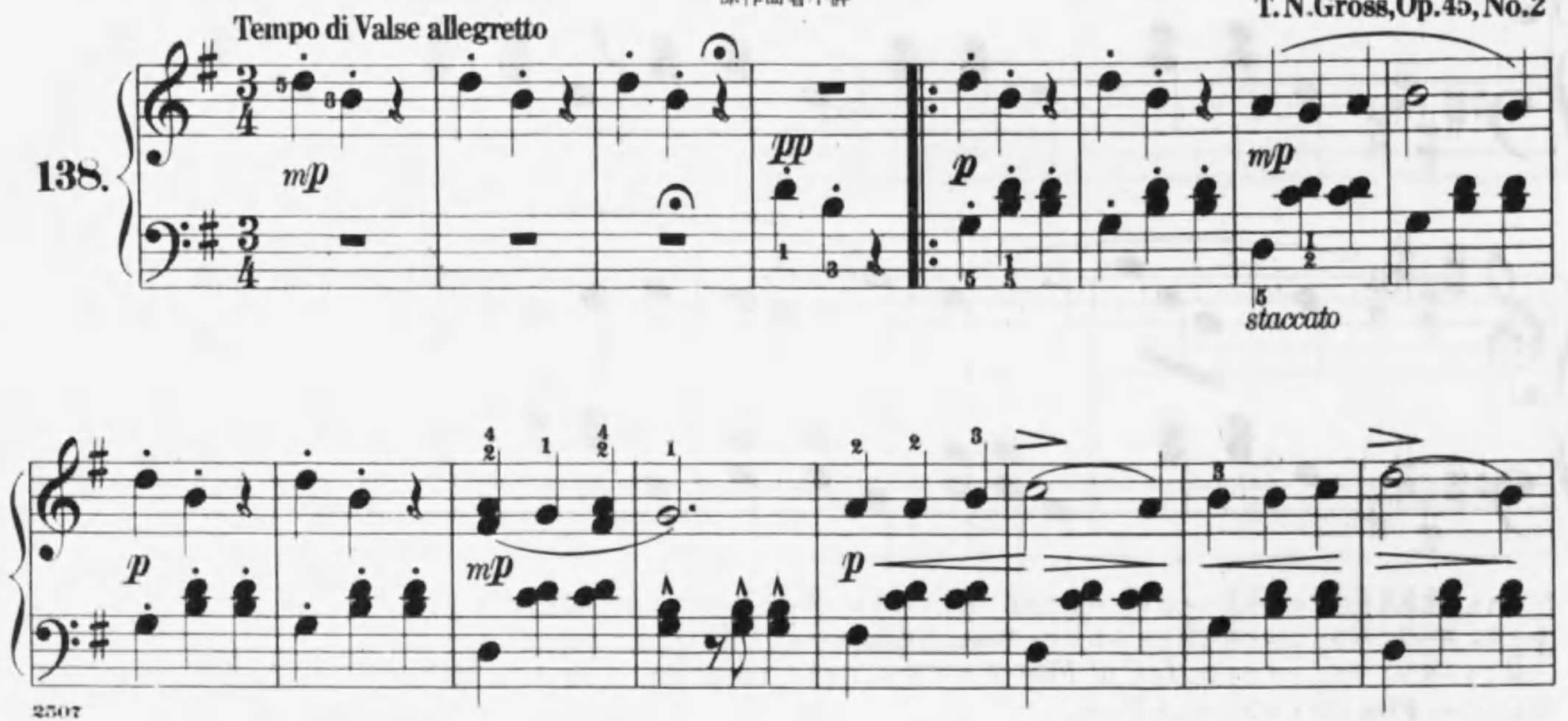
エミール　ワルトトイフェル（1837-1915）
ヨハン　シュトラウス　（1804-1849）
ヨハン　シュトラウス　（1825-1899）上のシュトラウスはこのシュトラウスのお父さんです。
フレデリック　ショパン　（1810-1849）

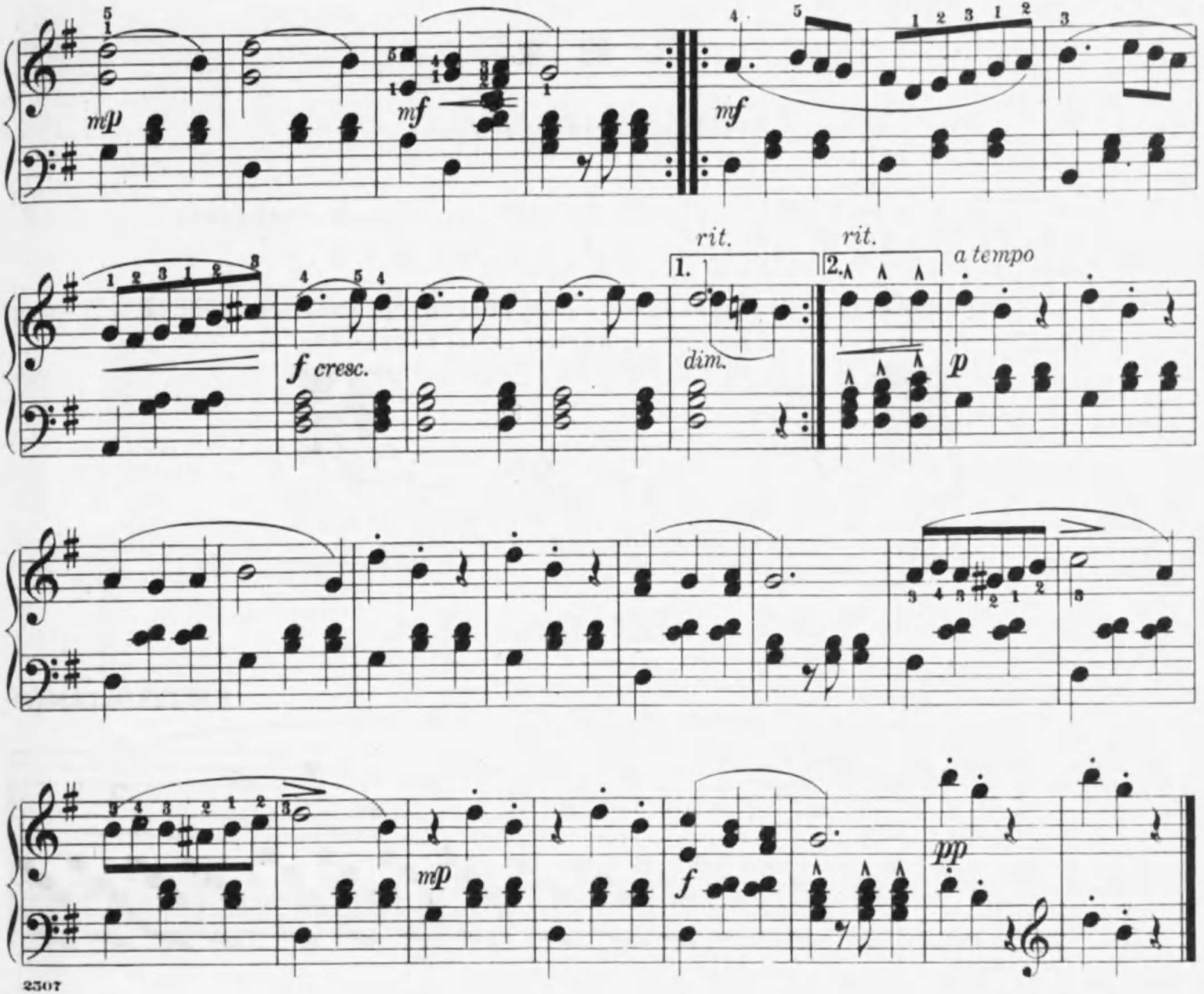
この外にウェーベルやブラームスも作曲しましたが、又、ドイツ人が歌い踊れてゐる誰が作曲したか分らないワルツも澤山あります。
次の曲も有名なワルツですがもとは誰が作曲したのかわかりません。

春のしらせ

原作曲者不詳

T.N.Gross,Op.45,No.2




mp
mf
mf
rit.
rit.
a tempo
1.
2.
f cresc.
dim.
p
mp
f
pp

蟻にひかれてゆくこほろぎ

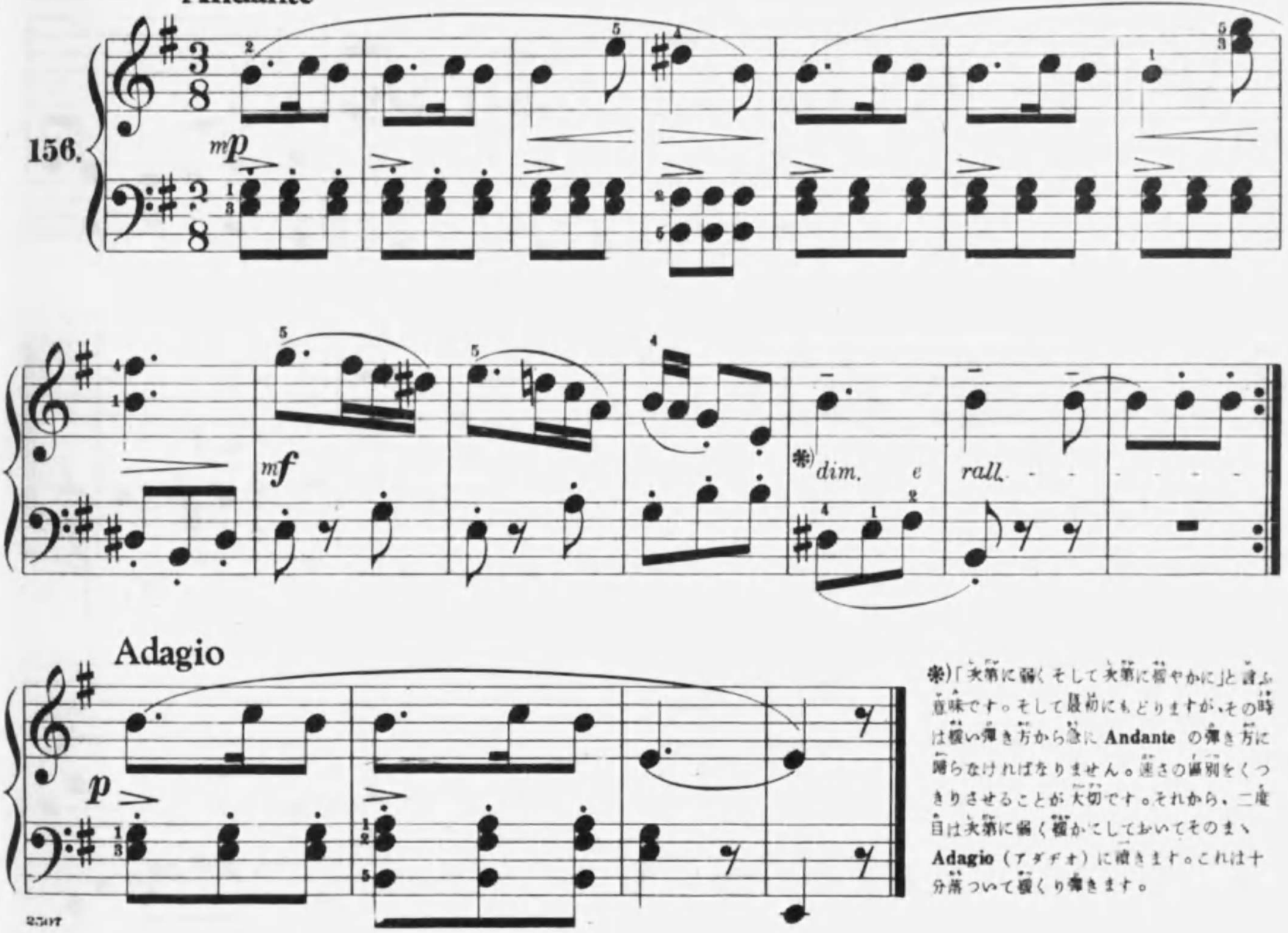
T.N.GROSS, Op.45, No.3

Andante

150.

悲しい踊り

T.N.GROSS, Op.45, No.4



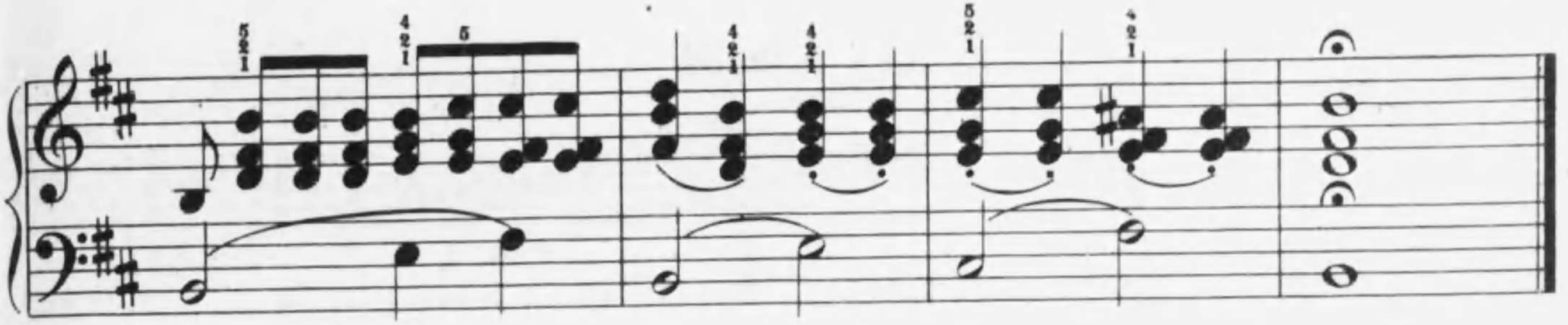
※)「次第に弱くそして次第に緩やかに」と言ふ意味です。そして最初にもどりますが、その時は緩い弾き方から急に **Andante** の弾き方に帰らなければなりません。速さの区別をくつきりさせることが大切です。それから、二度目は次第に弱く緩かにしておいてそのまゝ **Adagio**（アダヂオ）に続きます。これは十分落ついて緩くり弾きます。

木の葉の迷子

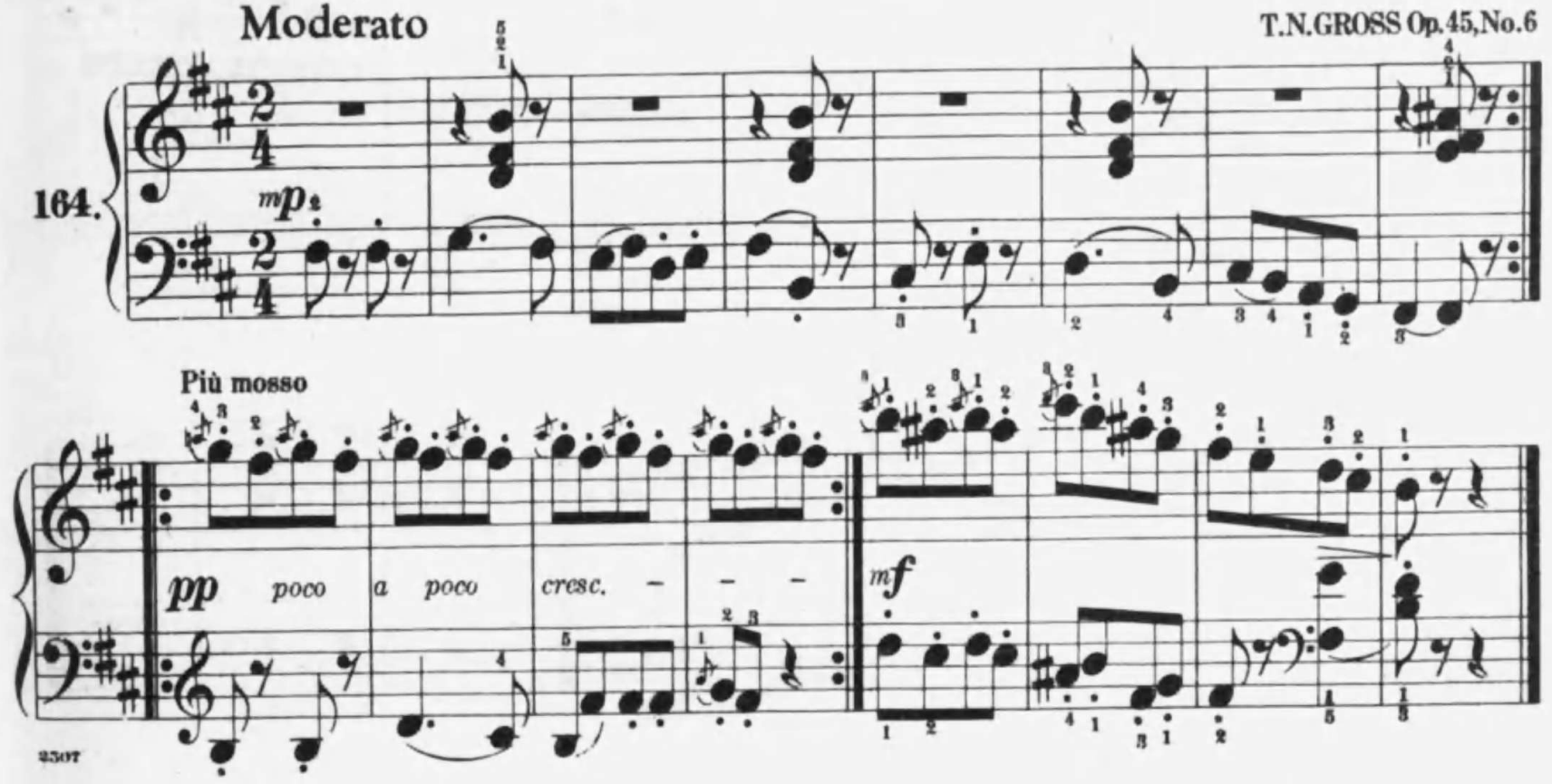
Moderato

T.N.GROSS,Op.45,No.5

160.



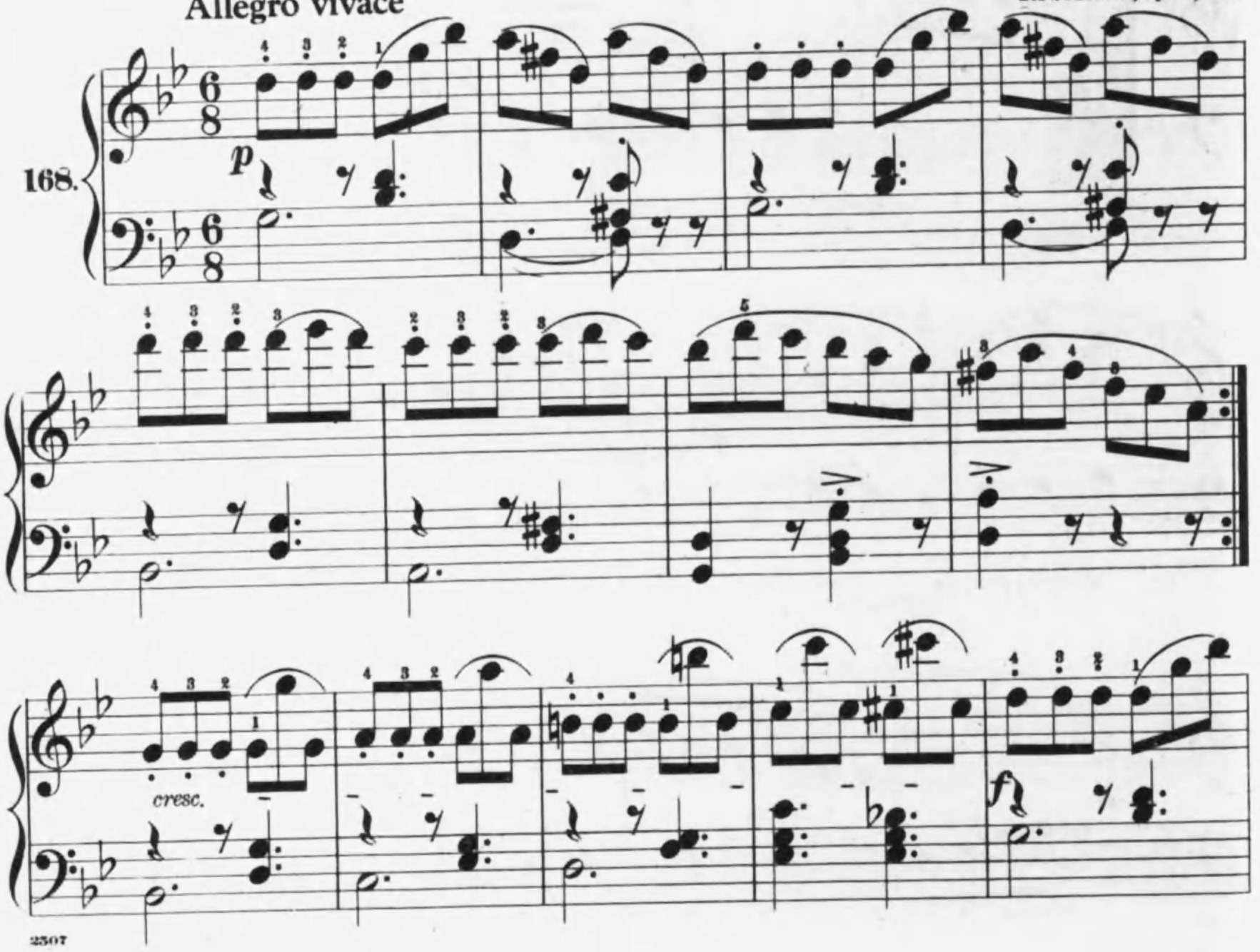
雪　兎

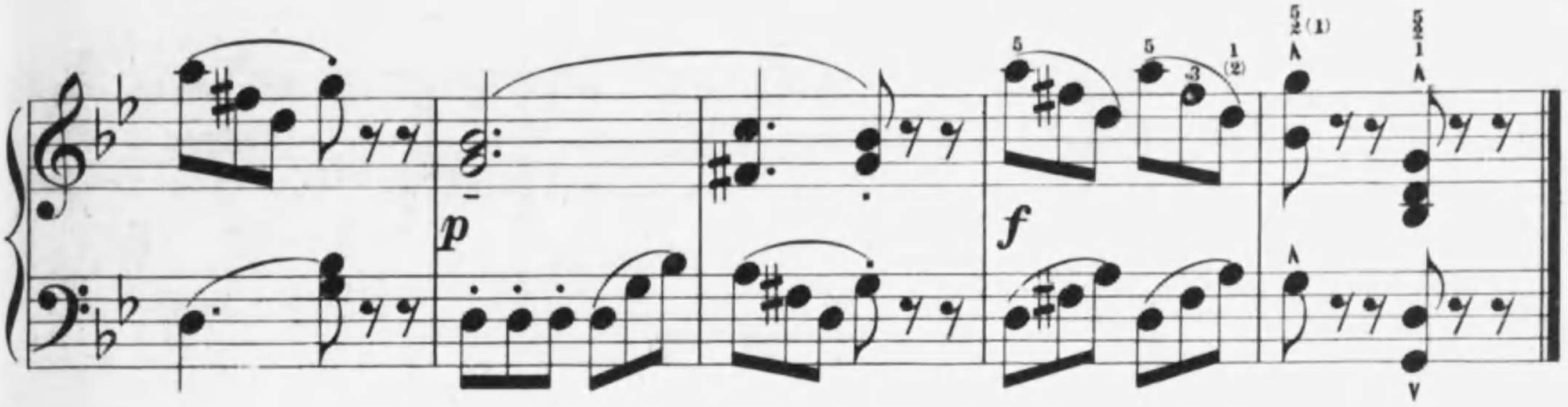

Moderato
T.N.GROSS Op.45,No.6
164.
mp
Più mosso
pp
poco
a
poco
cresc.
mf
2307

タ ラ ン テ ラ

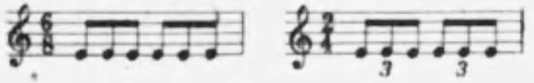
T.N.GROSS, Op.45, No.7

Allegro vivace





タランテラは北部伊太利の踊りで、必ず $\frac{6}{8}$ 拍子で、とても早い曲です。はじめは一小節を六つに數へてお稽古するのですが、指が間違はないやうになつたら♩.を一拍子に數へ、一小節を二拍子に數へます。つまり、一小節に三連符が二つある $\frac{2}{4}$ 拍子のやうに考へるのです。$\frac{6}{8}$ を二拍子とすることは普通です。よほど緩りした曲でなければ六拍子としないのです。

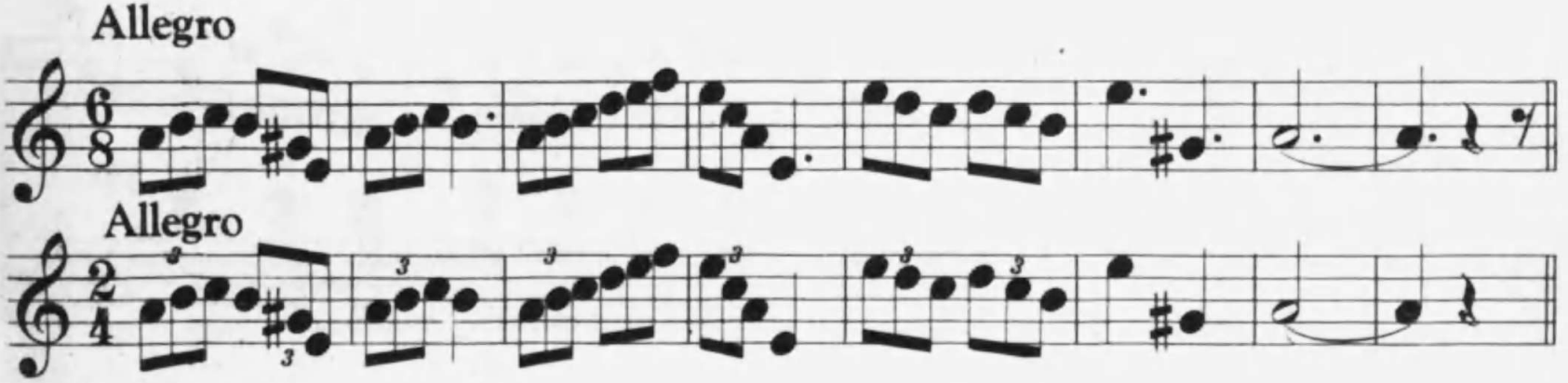


とは同じであります。

行進曲は二拍子か四拍子ですが、$\frac{6}{8}$ が使はれる場合は二拍子として使はれるのです。

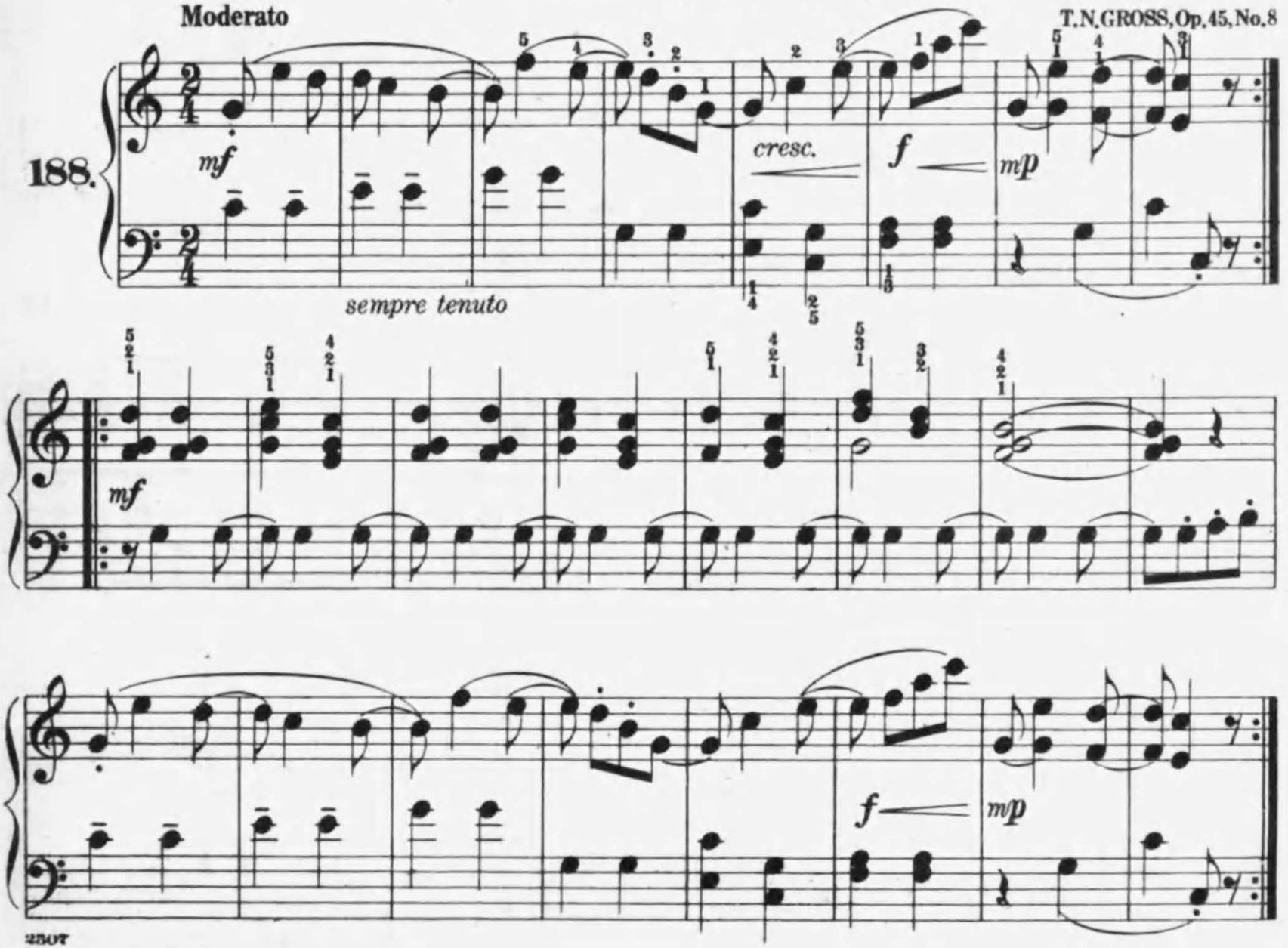
タランテラは $\frac{6}{8}$ 拍子の中でも速い曲ですからメトロノームでの速さを示す時は♪=とせずに♩.=で速さを示すのです。この曲は ♩.=120 以上の速さでなければなりません。

次の曲は二つとも書き方は違ふけれども同じものです。



シンコペーションの歌

Moderato

T.N.GROSS, Op.45, No.8

188.